

ODIP トランスフォーマ 3.2.8 リリースノート

2015/12/04

(株) インテリジェント・モデル

- ODIP は、（株）インテリジェント・モデル社の登録商標です。
- 本書に掲載された情報に基づいた行為の結果として発生した損害、利益の損失、経費などについて、（株）インテリジェント・モデルならびに本書の製作関係者は一切の責任を負いません。
- 本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で転載・複製することは法律で定められた場合を除き、禁止されています。

目 次

A.	機能追加・拡張	4
	(1) 外部関数用ライブラリフォルダの追加	4
	(2) DROP TABLE PURGE の対応 (Oracle)	4
B.	その他の変更と修正の履歴.....	5

A. 機能追加・拡張

(1) 外部関数用ライブラリフォルダの追加

ODIP トランスフォーマのインストールディレクトリに extlib ディレクトリが追加されました。

外部関数 (XFunc 関数) で利用する Java プログラムの jar ファイルを extlib フォルダに保存することで、トランスフォーマ起動時に自動的に CLASSPATH に追加されます。extlib フォルダの jar ファイルは、CLASSPATH 環境変数に指定されたクラスより優先的にロードされます。

(2) DROP TABLE PURGE の対応 (Oracle)

データソースの DBMS 名に「Oracle9i or later」が指定されているとき、ODIP が実行するテーブル削除の SQL 文が「DROP TABLE テーブル名 PURGE」に変更されました。これにより、Oracle10g から導入されたリサイクルビンには DROP したテーブルを入れず、対象のテーブルは完全に削除されます。

従来どおり「DROP TABLE テーブル名」でテーブルを削除するには、以下のファイルをトランスフォーマの config ディレクトリにコピーし、drop.purge の値を false に変更してトランスフォーマを再起動してください。

インストールディレクトリ/config/jdbcsample/oracle9i.properties

B. その他の変更と修正の履歴

本リリースでは、ODIP トランスフォーマサーバの修正はありません。

以 上